

# 学校教育総合プランの実施計画シート

(逗子市立 沼間 中学校)

2008.4.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子ども達の学力向上

1. 個に応じた指導の充実

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・基礎学力の定着のための個に応じた指導では、夏休みにおける学習の連続性も図りながら、発展的な学習・補充的な学習を並行して推進する。(支援部)
- ・読解力の向上、読書活動の推進では、国語科だけに委ねるのではなく、全教科が連携して推進していく。(教育課程部)
- ・支援教育では教育相談コーディネーターを中心に位置づけた教育相談連携計画を再構築し、スクールカウンセラー、うるおいフレンド、職員全体で取り組み、推進していく。(支援部)

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・読書活動の推進では保護者の読み聞かせボランティアや図書館ボランティアを新たに協力依頼していく。
- ・学習支援に保護者・地域の方々に夏休みだけでなく、日常的に協力を仰ぐ。

### 行動プラン

① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実。

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	・小学校おさらいテストの実施と分析 ・夏季休業期間中(10日間)に学習についての支援を実施する →従来の発展的な学習に加えて補充的な学習をさらに充実させる ・授業規律の確立(基本を大切に授業づくり)	・小学校おさらいテスト、学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を分析し、学習面での課題を洗い出し、放課後(火)、定期テスト前、教育相談期間の支援を系統的に行う。 ・夏季休業期間中の補充・発展学習を強化。	・全校生徒一人ひとりの3年間継続の個人学習支援シートを作成し、9教科を総合的に捉えた学力の向上を図る。 →読解力、思考力、発表力等
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 学習の継続性を図る。小中連携・地域連携による夏季休業中の補習学習の充実。	課題 計画通り実施できたが、補習学習の充実を検討。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 読解力向上の取り組み推進	・校内研究会において、国語科の授業研究を問題提起とし、各教科での取り組みの可能性を模索する。	・全教科で読解力向上推進プランを作成するなど、授業研究に取り組む。	・読解力向上について、さらに発展と向上を図る。
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 各教科の読解力について具体的な実践研究に取り組む。	課題 校内研究で授業力向上をテーマに公開授業を行った。読解力向上については授業で意識しながら指導したが、全教科プラン作成までではできなかった。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 読書活動の推進	・16年度の図書館利用授業で得た成果を再確認していく。	・新たな読書推進活動を図書委員会と国語科が連携して提案し、実践していく。 ・朝読書をカリキュラムに組み入れ習慣化する。 ☆ボランティアを活用した読み聞かせ等に取り組む	読書週間を中心に ・朝読書を生徒自らの活動で充実させる。 ・朝読書を充実させるためにブックトークの取り組みも積極的に取り入れる。
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 読書習慣の向上を目指し図書ボランティアを活用した取り組みを工夫する。	課題 図書委員会、国語科、図書ボランティアの協力で読み聞かせ活動が実施できた。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 支援教育の充実	・教育相談コーディネーターを中心に位置づけた教育相談連携計画を提案し検討する。	☆様々な教育活動の中における教育相談の充実と、担任による計画的な生徒全員との二者面談の実施。他機関との連携の推進。 ・ADHD、LD等の研修をし、特別支援教育についての具体的対策をつくる。	・特別に支援が必要な生徒への具体的な支援方法を学習面、メンタル面両輪で体系的に実践する。
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆相談しやすい環境の整備と、定期的な教育相談の充実。情報の共有と連携の推進。	課題 ◆支援委員会による支援の必要な生徒の把握とその情報の共有を教職員で行ったが、外部講師による校内研修は実施できなかった。	課題

# 学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 沼間 中学校) 2008.4.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子ども達の学力向上



2. 健やかな心と身体の育成

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・全教職員の共通理解の下に「心の五か条」の定着を図る。(指導部)
- ・豊かな心がバランスよく身についた生徒の育成に努める。(教育課程部 道徳担当)
- ・神奈川県イキイキスクール推進校として体力づくり・健康教育・食教育の3本柱で研究を進める。(イキイキスクール研究担当)
- ・行事や部活動に意欲的に取り組む生徒の育成に努める。(指導部)

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・総合的な学習の時間、道徳の時間に積極的に地域講師を迎えての授業を導入する。
- ・家庭・地域・教職員がともに食教育の研修に励み、共通理解の下に生徒の食教育を充実させる。
- ・生徒の活動期間を保証する。(会議の精選・時間割の工夫・学校行事の関わり)

### 行動プラン

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①                      基本的な生活習慣の育成                 </div>	・毎週水曜日に校門指導(あいさつ運動)を実施する。 ・基本的な生活習慣に関わる全校生徒対象のアンケートを実施し、実態を把握する。	・毎週水曜日に校門指導(あいさつ運動)を生徒会活動を中心として推進する。 ・アンケート結果を受けて、改善点を明らかにし、保護者・地域からの協力も得て改善を図る。	・服装、食生活、時間、マナー面等、義務教育終了後、規範意識の高い社会人の育成を目指す。
	評価 A・㊸・C	評価 S・A・㊸・C	評価 S・A・B・C
	課題 生活習慣のできていない部分を家庭とともに共有し、生徒が基本的な生活習慣を自主的に身につけられるようにすること。	課題 生徒会、保護者の協力で毎週水曜日と定期試験の週5日間実施した。保護者の協力のもと、朝のあいさつ運動は定着したが、遅刻者や服装の乱れの改善が十分ではなかった。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の5か条の定着を日常的に教育活動全般において推進する。</li> <li>3年間を見通した人権教育のカリキュラムを確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域協力者等を招聘し、人権問題を生徒自らの課題として認識させる。</li> <li>☆人権フェスタの実施(全学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権問題の課題を日常生活の中に見つけ、その解決に向けて行動できる力を生徒が身につけられるよう支援する。</li> </ul>
	評価 A・㊸・C	評価 S・㊸・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 体験を通じた道徳教育の充実と日常的な「思いやる心」「生命を大切に作る心」の育成。	課題 人権フェスタの実施(全学年)、道徳の公開授業(人権教育、1年)を実施し保護者、地域の方にも参加いただいた。今後はテーマを決めて実施したい。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 豊かな体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊行事におけるカリキュラムと経費を見直し有効な教育活動となるようねらいを共通認識する。</li> <li>職業体験学習の内容を発展させるカリキュラムを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆新学習指導要領を見通した体験学習の見直し。</li> <li>職業体験日数を2日に増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいカリキュラムによる宿泊行事等の充実。</li> <li>☆職業体験学習の内容の充実。</li> </ul>
	評価 A・㊸・C	評価 S・㊸・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 体験学習の充実とともに、発達段階に応じたねらいの系統化。	課題 今年度2日間にし、実施したが、2日間受け入れてくれる事業所を探すのが難しかったので課題となった。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域講師を迎えた授業を家庭科において実践する。</li> <li>保健体育、家庭科、養護教諭による授業の連携を深め、ねらいを深化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆かながわイキイスクール研究指定校として保護者・地域の協力も取り入れ、学校全体で健康教育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育全体計画にしたがって、体系的に実践する。</li> </ul>
	評価 A・㊸・C	評価 S・㊸・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 県の研究指定校として地域教育力を取り入れた健康教育の見直し。	課題 県指定で2年間のイキイスクールを行い、食育授業で地域の方を講師に招いて調理実習を行った。健康教育で県から表彰を受けた。	課題

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 沼間 中学校) 2008.4.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

II 課題に迅速に対応する学校づくり

1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- ・2年目を迎える校務分掌組織が、教育課題に迅速かつ機能的に対応できる組織としてより有効になるよう検証に励み、改善する。(総務部)
- ・小中連携を深め、生徒が中学校生活に速やかに適応していけるよう具体的な手だてを講じる。(総務部・各部)
- ・20周年に向けて校舎点検を徹底する。(管理部)
- ・安心できる学校づくりに生徒が参加する体制を創る。(指導部)
- ・支援体制を確立する。(支援部)

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・保護者、地域に安全確保のための協力を依頼し、通学路の安全を確保していく。
- ・支援が必要な生徒についてはケース会議等を設定し、外部機関との連携を深める。
- ・小学校との連絡を密にする。 ・英会話教室(ふれあい教室)を地域・保護者とともに生徒参加を促す。

行動プラン

①  
子どもの安全と安心の  
確保の推進

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	・校舎危険箇所・修繕箇所を集約し、改善を図る。 ・生徒が参加する不審者対応訓練を充実させる。 ・安全管理マニュアルの見直しを徹底する。	・19年度の反省にたち、月末の『安全点検』のより効果的な方法を検討する。 ☆防犯、救急研修(職員対象)の実施。	・生徒も参加する月末の『安全点検』のより効果的な方法を検討する。
	評価 A・㊸・C	評価 S・A・㊸・C	評価 S・A・B・C
	課題 他機関との連携による研修と実践的訓練の充実。	課題 生徒の安全確保のための安全点検を複数で行うことができた。また、校内の防災、防犯研修を行ったが、定期的な安全点検の徹底とともに日常的な安全に対する意識の向上が必要である。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② いじめ・不登校等への 対応の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した人権教育の定着を図る。</li> <li>→1年 CAP講習会</li> <li>→2年 イジメ防止プログラム</li> <li>→3年 エイズ教育</li> <li>・支援体制を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、支援部長が中心となり学年・学級との連携を密にし、教育相談を必要とする生徒への早期対応が可能な支援体制を立ち上げる。</li> <li>☆一般公開による人権フェスタの実施(全学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が学級活動の中で互いに支援し合えるような学級集団を実現する。</li> <li>・教育相談を必要とする生徒への支援体制の充実を図る。</li> </ul>
	評価 A・B・C 課題 各担当の連携を密にした素早い対応と被害者の立場に立った指導の充実。	評価 S・A・B・C 課題 支援委員会で支援が必要な生徒の全職員による把握、情報交換、共有の充実。人権教育の充実。1年生にCAP人権教育(暴力防止)実施。	評価 S・A・B・C 課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 幼稚園・保育園・ 小学校・中学校の連 の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教職員研修を実施し相互理解を図る。(年3回以上)</li> <li>・小中教職員協力で6年生おさらいテストを実施する。</li> <li>・新入生体験学習を10月に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教職員研修を実施したり、研究会に乗り入れる等により、相互理解を図る。</li> <li>・中学校教諭が小学校にて交換授業を行う。→体育だけではなく、英語、数学等に広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科毎に連絡会をもち、小中一貫カリキュラムの在り方を模索する。</li> </ul>
	評価 A・B・C 課題 小中教職員が連携し、指導の連続性を目指した取り組みの検討。	評価 S・A・B・C 課題 沼間小学校との連携で小学校に出向いて授業、クラブ指導を実施。連携の充実。	評価 S・A・B・C 課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行における生きた国際理解教育を定着させる。</li> <li>・郷土 返子、沼間を学ぶ機会を積極的に導入する。</li> <li>・英会話教室に生徒参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域講師(海外在留経験者又は日本に留学生として来られている方々等)を迎えての授業実践を導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域講師(海外在留経験者又は日本に留学生として来られている方々等)を迎えての授業実践をカリキュラムの中に位置づける。</li> </ul>
	評価 A・B・C 課題 英会話教室に生徒参加を促し、参加実績をつくる。	評価 S・A・B・C 課題 人権フェスタで海外支援活動の講話及び国際教育指導助手の自国文化の講話を授業に取り入れた。	評価 S・A・B・C 課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動、総合的な学習に止まらず、全教科においてキャリア教育を意識し、推進する。</li> <li>・職業体験学習の充実、発展を図る。(豊かな体験学習の推進と共に考える)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験日数を2日に増やす。</li> <li>☆キャリア教育について新学習指導要領を見通して検討を加える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆職業体験学習では内容の充実を図ること</li> <li>生徒に日程及び内容の選択を広げる。</li> </ul>
	評価 A・③・C	評価 S・④・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 職業体験学習を充実させキャリア教育の推進に努める。	課題 今年度初めて職業体験を2日間にした。2日間の体験場所確保が課題。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑥ 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年総合的な学習において、小学校の福祉教育を発展させ、自らの課題として意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年夏休みに個人選択で福祉体験学習に参加するよう学年で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の発表の場を設け、福祉体験を共有していく。</li> </ul>
	評価 A・③・C	評価 S・④・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 1年の総合的な学習の時間における福祉体験学習だけでなく、他学年にも広げ福祉教育の充実を図る。	課題 2学年で夏季休業中に総合学習の体験学習を実施。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑦ 環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境局中心に学校版 ISOの取り組みを目指して準備を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学校版ISO取得に向けて具体的に取り組む。</li> <li>・逗子メダカの飼育を全校の課題として意識させ、一人ひとりが環境問題に取り組めるよう促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学校版ISO取得に向け環境局を中心に全校で取り組む。</li> </ul>
	評価 A・③・C	評価 S・A・④・C	評価 S・A・B・C
	課題 環境に対する意識向上のための全校生徒による活動の取り組み。	課題 ISO取得に向けて活動中。メダカの飼育は難しかった。また、全校生徒への環境に対する意識の向上が不十分であった。	課題

行動プラン

⑧  
情報教育の推進

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で情報教育を推進していくことができるよう予算を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆総合的な学習等での発表において、情報機器を活かしたプレゼンに取り組む。</li> <li>・他機関と連携して情報モラル向上に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル等についても生徒に課題を投げかけながら、日常の授業に生かしていく。</li> <li>☆情報モラル向上を図りつつ、インターネットを含めた情報機器の活用を広げる。</li> </ul>
	評価 A・⑧・C	評価 S・⑧・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 生徒の発表の場での情報機器の活用の推進。情報モラルの向上。	課題 情報モラルの更なる向上を図り、ICTを活用した授業づくりをめざす。	課題



# 学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 沼間 中学校) 2008.4.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

II 課題に迅速に対応する学校づくり



2. 地域に開かれた学校づくり

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・学校の教育活動を積極的に公開し、課題を共有することで子どもへの成長支援を広げる。(各学年・学級)
- ・学校全体の広報活動を充実させ、保護者、地域に校内活動の情報を発信する。(地域連携部)
- ・図書館ボランティアを募集し、図書館活用の充実を図る。(図書委員会担当)

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・地域の協力を得て、地域行事になるべく多くの生徒を参加させ、学校内ではできない体験をさせる。

### 行動プラン

①  
地域への情報発信と  
学校公開の工夫

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	・学校だより、学級通信、広報掲示板、回覧板を利用し、地域・家庭に情報提供の回数を増やす。 ・学校公開の広報活動や体制を整え、地域の方々が参加しやすい状況を作る。	・評議員に授業参観の機会を設定し、より多くの情報が共有できるよう評議員会を開く。 ・学校公開日を毎月指定し、地域・保護者が来校する機会を作る。	・学校へ行こう週間や公開日を利用して保護者・地域来校者の増加を図る。研究会は地域、保護者の参加を募り、意見反映を促す。
	評価 A・B・C	評価 S・A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 学級、学年、学校便りの定期的な発行と学校情報の積極的な公開。	課題 学校評価委員・評議員の来校日は授業参観してから会を行った。学校公開日は特に指定せず何時でも授業参観できるようにしているが参観者はほとんどない。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 地域教育力の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳、総合的な学習の時間に留まらず、各教科の授業においても地域講師を招くことができる教科から実施していく。</li> <li>・個別な学習支援・図書館に地域協力者の参加を実現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に地域講師の協力を要請していく。</li> <li>・学校外の地域行事にも、生徒が積極的に参加するよう取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別な学習支援・図書館に地域協力者の参加を定着させる。</li> <li>・地域講師参画型の授業づくりを継続的に実施する。</li> </ul>
	評価 A・②・C 課題 道徳や各教科での地域講師参加の推進。	評価 S・①・B・C 課題 創立20周年だったので、卒業生を含めた地域講師授業を行った。逗子市民祭り清掃ボランティアや地域のお祭りでみこしをかつぐ等の行事に参加。	評価 S・A・B・C 課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間行ってきた学校評価項目を精選し、授業評価も全校一斉全教科で実施し、授業改善に活かす。</li> <li>・評議員に授業参観等の機会を設定し、外部評価をより有効な評価にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価結果で重要度、実現可能度等を検討し、全職員の共通理解を得て、最優先課題として解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観性のある学校評価も一部取り入れ、その結果を真摯に受け止め検討し、最優先課題として解決を図る。</li> </ul>
	評価 A・②・C 課題 ◆学校評価を学校経営に活かせるよう評価方法、内容、時期を改善していく。	評価 S・①・B・C 課題 ◆評価項目を見直し新しい評価アンケートで生徒、保護者、学校評価委員、評議員の学校評価を受けてポイントを絞り来年度以降にいかす方向で検討。	評価 S・A・B・C 課題

# 学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立 沼間 中学校) 2008.4.

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力の向上



1. 教員研修・研究の充実

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・基礎・基本の定着を基盤とした、「自ら学び考え、判断し、行動できる生徒」の育成を目指し、校内研究会の充実を図る。(教育課程部)
- ・教職員の人間力の向上を目指し、幅広い見地からの研修を設定する。(福祉会担当)

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・研究授業を地域に公開する。
- ・教職員研修地域講師を依頼し、地域とともに学ぶ姿勢をアピールする。

### 行動プラン

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 授業研究の充実	・一人一人が年3回の授業公開を実践する。 ・校内研究会で3回の研究授業を設定し、研究協議をもつ。 ・生徒・教員による授業評価を実施・分析する	・19年度を継続、発展 ・学習状況調査や全国学力学習状況調査の結果を分析し、指導の改善を図る。	☆基礎・基本の定着を基盤に、活用する力の育成を目指した授業研究に取り組む。
	評価 A・㊸・C	評価 S・A・㊸・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆基礎基本の定着を図り、わかりやすい授業を目指した授業研究の充実。	課題 ◆校内公開研究授業を実施し授業力を高めるにあたってより成果を高めるため、お互いに見合う時間の確保が課題である。	課題

行動プラン

②  
授業評価の活用

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
・全教科、全学年一斉に授業評価を実施し、授業改善に活かす。 (生徒・教員による授業評価を実施・分析)	☆全教科、全学年授業評価を行い、校内研究会でその結果を分析し、改善していく。	☆授業評価を授業改善に生かして、授業力向上を目指す。
評価 A・㊀・C	評価 S・㊀・B・C	評価 S・A・B・C
課題 ◆授業評価項目を見直し、その結果を授業改善にいかす。	課題 ◆生徒、保護者による授業評価を実施し、結果を教職員に公開し授業にいかす。	課題

行動プラン

③  
地域教材の積極的活用・開発の促進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
・「沼間」についての小中合同研修会を行い、教材としての可能性を模索する。 ・逗子メダカの飼育を環境局が手始めに行う。	・各教科指導においても地域教材を授業に積極的に取り入れ、地域にも授業公開し、協力を呼びかける。	・地域教材を活用して、授業の充実と公開を積極的に行う。
評価 A・㊀・C	評価 S・㊀・B・C	評価 S・A・B・C
課題 地域教材を取り入れた授業実践を検討する。	課題 地域講師による食育の調理実習を実施し、身近な食材の活用をはかった。	課題

行動プラン

④  
研修事業の充実

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
・小中合同研修会の年3回実施を目標とし、企画・運営する。 →「郷土沼間を知る」 講師:地域の歴史家 →「支援が必要な生徒たち」講師:SC →「P&T教育講演会」	・学校現場における人権の課題研修会を設定する。 ☆新学習指導要領の研修会を実施し、先取りを含めた移行を検討する。	・危機管理意識、情報モラル等の高揚等、今日的な課題についての研修会を実施。
評価 ㊀・B・C	評価 S・㊀・B・C	評価 S・A・B・C
課題 小中教職員の合同研修会の推進。	課題 人権フェスタを実施し、生徒、保護者、地域の方、職員ともに参加し研修の場とした。移行期間に向けての各担当での検討。特に先行実施する道徳、特活、総合は3つの関連も考えて検討。	課題